

平成21年9月期 決算説明会 (第2四半期)

 OKUMURA CORPORATION

平成21年11月9日開催

決算説明会の内容

- 1 挨拶
代表取締役社長 奥村 太加典
- 2 決算及び業績予想の概要説明
代表取締役副社長執行役員
管理本部長 西中 成
- 3 決算及び業績予想の詳細説明
管理本部経理部長 田中 敦史

 OKUMURA CORPORATION

挨拶

代表取締役社長 奥村 太加典

 OKUMURA CORPORATION

決算及び業績予想の概要説明

代表取締役副社長執行役員
管理本部長 西中 成

 OKUMURA CORPORATION

連結決算の概要

(単位：百万円)

	20/9期	21/9期		
	実績	予想	実績	増減
売上高	78,944	75,000	69,397	▲5,602
営業利益	▲972	▲2,100	▲2,519	▲419
経常利益	217	▲1,350	▲1,275	74
四半期純利益	▲4,716	▲1,400	▲1,570	▲170

《主なポイント》

- ・ **売上高は予想より5,602百万円減少**
 ⇒ 進行基準工事 増加見込額の減少
 予想6,100百万円→実績2,177百万円 (▲3,922百万円)
 完成基準工事 売上計上が下期以降にずれた
- ・ **営業損失は予想より419百万円増加**
 ⇒ 土木の工事利益が工事損失引当金の増加等により大幅に悪化 (建築の工事利益は手持工事の採算改善により好転、一般管理費も減少)
- ・ **経常損失は予想より74百万円減少**
 ⇒ 為替差益427百万円計上
- ・ **四半期純損失は予想より170百万円増加**
 ⇒ 貸倒引当金戻入額739百万円、前期損益修正損417百万円
 投資有価証券評価損669百万円の計上

<参考> 受注高（個別）

（単位：百万円）

	20/9期	21/9期		
	実績	予想	実績	前期比
土 木	46,685	31,500	19,410	▲58.4%
官公庁	39,647	17,500	6,886	▲82.6%
民間	7,038	14,000	12,523	77.9%
建 築	44,429	48,000	33,564	▲24.5%
官公庁	6,083	6,000	6,167	1.4%
民間	38,345	42,000	27,397	▲28.6%
合 計	91,114	79,500	52,975	▲41.9%

《主なポイント》

- ・ 土木は予想より12,089百万円減少
⇒ 官公庁工事について補正予算の恩恵が当社クラスのゼネコンにはほとんどなく、入札案件への競合が激化
- ・ 建築は予想より14,435百万円減少
⇒ 厳しい経済環境において、民間の設備投資が大幅に減少

連結業績予想の概要

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期		
	実績	前回	今回	前期比
売上高	226,973	218,500	198,000	▲12.8%
営業利益	4,399	700	200	▲95.5%
経常利益	5,906	1,800	1,500	▲74.6%
当期純利益	▲3,405	1,500	800	—

《主なポイント》

- ・ 売上高は前回予想より205億円減少
 ⇒ 進行基準工事 増加見込額の減少
 前回予想349億円→今回予想150億円 (▲199億円)
- ・ 営業利益は前回予想より5億円減少
 ⇒ 土木の工事利益悪化
 (建築の工事利益は好転、一般管理費は前回と同額)
- ・ 経常利益は前回予想より3億円減少
 ⇒ 営業外収支が2億円改善
- ・ 当期純利益は前回予想より7億円減少
 ⇒ 当第2四半期決算の前期損益修正損の増加額4億円を上乗せ

<参考> 受注高予想（個別）

（単位：百万円）

	21/3期	22/3期		
	実績	前回	今回	前期比
土 木	70,631	77,000	72,000	1.9%
官公庁	50,140	52,000	45,000	▲10.3%
民間	20,490	25,000	27,000	31.8%
建 築	96,886	120,000	120,000	23.9%
官公庁	16,425	15,000	25,000	52.2%
民間	80,460	105,000	95,000	18.1%
合 計	167,517	197,000	192,000	14.6%

<<主なポイント>>

- ・ 土木は、前回予想から50億円下方修正

決算及び業績予想の詳細説明

管理本部経理部長 田中 敦史

 OKUMURA CORPORATION

平成21年9月期 決算説明会

連結決算の詳細

- ◇ 連結貸借対照表
 - ・ 資産、負債、純資産
 - ・ 個別貸借対照表との比較
- ◆ 連結損益計算書
 - ・ 売上高、売上総利益、一般管理費、営業外収支
特別損益、営業利益、経常利益、四半期純利益
 - ・ 個別損益計算書との比較
- ◇ 連結キャッシュ・フロー計算書

 OKUMURA CORPORATION

◇連結貸借対照表

(単位：百万円)

	21/9期	21/3期	増減
	実績	実績	
流動資産	195,538	224,527	▲28,989
受手・完工未収等	37,130	64,287	▲27,156
固定資産	70,942	69,149	1,792
有形固定資産	24,489	24,121	368
無形固定資産	627	727	▲99
投資その他の資産	45,824	44,300	1,523
投資有価証券	44,496	41,708	2,788
資産合計	266,480	293,677	▲27,196

《主な増減理由》

『投資有価証券』

- ・前期末より株式市場が回復し含み益増加 約+34億円
(前期末約136億円⇒約170億円)
- ・評価損計上 約▲7億円(時価30%以上下落、特別損失)

《連結貸借対照表続き》

(単位：百万円)

	21/9期	21/3期	増減
	実績	実績	
流動負債	137,231	164,364	▲27,133
支手・工事未払等	40,724	75,238	▲34,513
短期借入金	13,016	9,496	3,520
工事損失引当金	6,046	5,132	913
固定負債	15,257	14,157	1,100
負債合計	152,489	178,521	▲26,032
純資産	113,991	115,155	▲1,163
負債純資産合計	266,480	293,677	▲27,196

《主な増減理由》

『支払手形・工事未払金等』

- ・ 当社の支払条件の変更による減少 約▲100億円
- ・ 手持工事の減少により施工高が減少したため

『短期借入金』

- ・ 前期末に銀行の要請で一旦返済した借入金を借入 約+22億円
- ・ 営業政策上融資取引のない銀行から借入 約+10億円

『工事損失引当金』

- ・ 土 木 ⇒ 約10億円増加
 - 工事完成によるもの 約▲4億円
 - 引当不足によるもの 約+14億円
- ・ 建 築 ⇒ 約1億円減少
 - 工事完成によるもの 約▲1億円

《個別貸借対照表との比較》

(単位：百万円)

	21/9期		増減		21/9期		増減
	個別	連結			個別	連結	
流動資産	191,730	195,538	3,808	流動負債	135,179	137,231	2,052
未成工事支出金	111,459	108,030	▲3,429				
不動産事業支出金	3,864	9,601	5,737				
その他流動資産	13,404	10,995	▲2,408				
固定資産	69,408	70,942	1,533	固定負債	14,228	15,257	1,029
有形固定資産	18,507	24,489	5,982	負ののれん	—	992	992
無形固定資産	622	627	5	負債合計	149,407	152,489	3,081
投資その他の資産	50,278	45,824	▲4,454	純資産	111,731	113,991	2,260
資産合計	261,138	266,480	5,341	負債純資産合計	261,138	266,480	5,341

※上記個別の科目は、連結の開示科目ベースで組替えている。

《主な増減理由》

『未成工事支出金』

- ・連結修正によるもので、連結子会社から発注された工事の原価を不動産事業支出金に振替

『不動産事業支出金』

- ・連結子会社の同科目残高と上記振替による増加

『その他流動資産』

- ・連結修正によるもので、連結子会社への短期貸付金を消去

『有形固定資産』

- ・連結子会社の同科目残高による増加

『投資その他の資産』

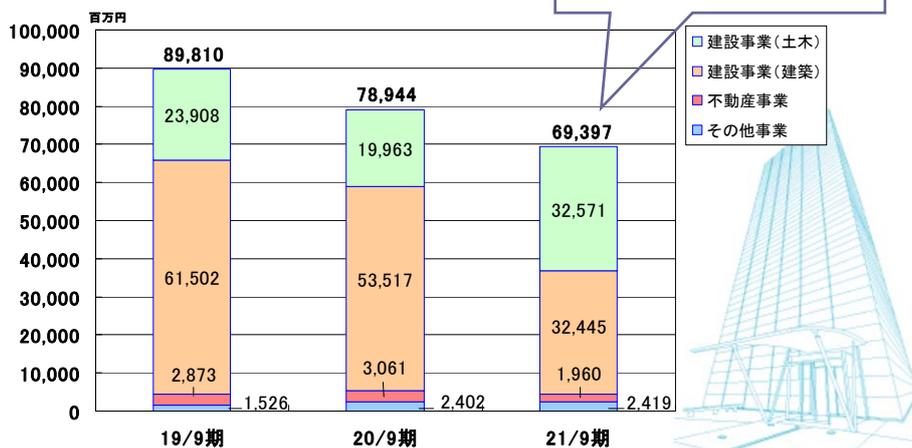
- ・連結修正によるもので、連結子会社への長期貸付金を消去

『負ののれん』

- ・連結修正によるもので、負ののれんの未償却額

◆連結損益計算書

～売上高～



＜建設事業＞
完成工事高の前年同期比
土木 +12,608百万円 (+63.2%)
建築 ▲21,072百万円 (▲39.4%)
合計 ▲8,464百万円 (▲11.5%)

《売上高の主なポイント》

建設事業

・進行基準工事の売上高

21年4月以降着手分（新会計基準によるもの）

土木 599百万円、建築 1,578百万円、合計 2,177百万円

不動産事業

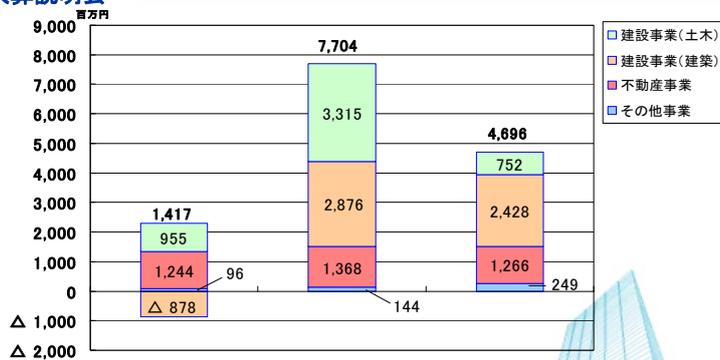
・売上高内訳

	20/9期	21/9期	増減
販売	1,668百万円	512百万円	▲1,155百万円
賃貸他	1,392百万円	1,447百万円	54百万円
計	3,061百万円	1,960百万円	▲1,100百万円

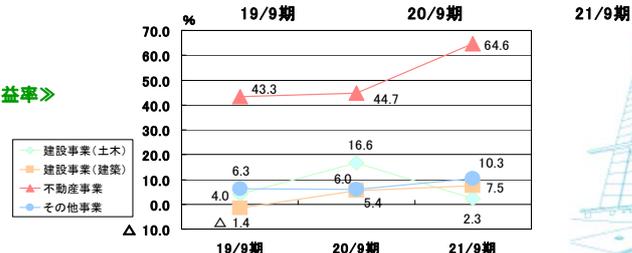
平成21年9月期 決算説明会

～売上総利益～

《売上総利益額》



《売上総利益率》



OKUMURA CORPORATION

平成21年9月期 決算説明会

《売上総利益の主なポイント》

建設事業

- ・ 土木は、前年同期のような大型の高採算工事がなく、前期以前に受注した工事で、工事損失引当金の引当不足を完成工事原価に計上した結果、総利益率が14.3ポイント低下
- ・ 建築は、手持工事の採算が全般的に改善し総利益率が2.1ポイント上昇

不動産事業

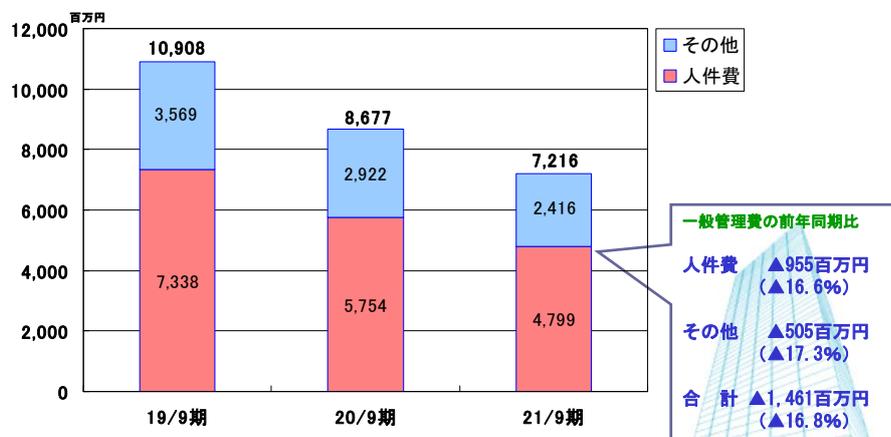
- ・ 売上総利益の内訳

	20/9期	21/9期	増減
販売	267百万円(16.0%)	166百万円(32.4%)	▲101百万円
賃貸他	1,101百万円(79.1%)	1,099百万円(76.0%)	▲1百万円
計	1,368百万円(44.7%)	1,266百万円(64.6%)	▲102百万円

OKUMURA CORPORATION

平成21年9月期 決算説明会

～一般管理費～



《主なポイント》

- ・一般管理費削減の主な要因は、昨年6月の早期退職の実施によるもの

平成21年9月期 決算説明会

～営業外収支～

(単位：百万円)

	19/9期	20/9期	21/9期	
	実績	実績	実績	増減
営業外収益	1,017	1,291	1,349	57
受取利息配当金	944	1,008	596	▲411
為替差益	—	(64)	427	362
営業外費用	129	100	105	4
支払利息	120	84	92	8
営業外収支	888	1,190	1,244	53
金融収支	824	923	503	▲420

※20/9期の為替差益は営業外収益その他に含まれている。

～特別損益～

(単位：百万円)

	19/9期	20/9期	21/9期	
	実績	実績	実績	増減
特別利益	457	1,103	939	▲163
固定資産売却益	163	409	20	▲388
貸倒引当金戻入額	61	394	739	344
特別損失	432	5,825	1,158	▲4,667
前期損益修正損	24	26	417	391
投資有価証券売却損	—	500	1	▲498
投資有価証券評価損	179	1,040	669	▲371
退職特別加算金	—	4,166	—	▲4,166
特別損益	24	▲4,722	▲218	4,503

《主な増減理由》

『退職特別加算金』

- ・前年同期は、昨年6月に実施した早期退職による退職金の積増し額を特別損失に計上（当四半期はなし）

『貸倒引当金戻入額』

- ・営業債権の減少により前年同期より増加

『前期損益修正損』

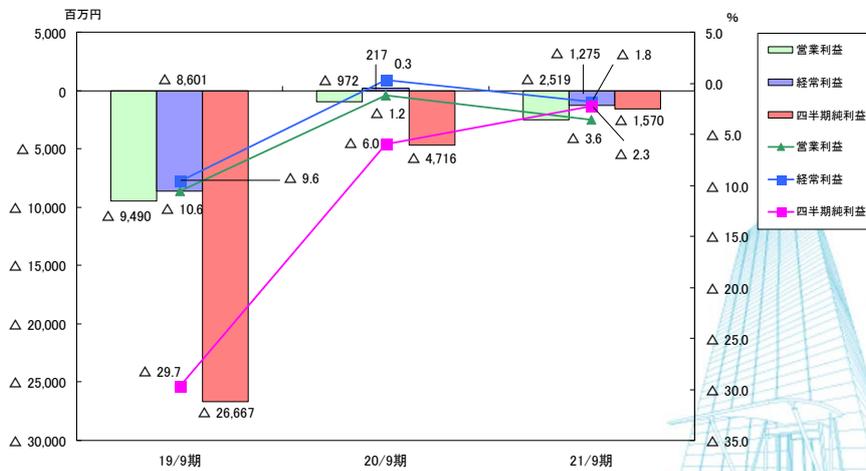
- ・前期末に見積もり計上した完成工事未収入金の減額や工事未払金の不足額（主に補修費）が発生したことにより増加

『投資有価証券評価損』

- ・帳簿価額に比べて時価が30%以上下落した7銘柄について評価損を計上

平成21年9月期 決算説明会

～営業利益、経常利益及び四半期純利益～



OKUMURA CORPORATION



OKUMURA CORPORATION

《個別損益計算書
との比較》

	21/9期				
	個別		連結		増減
売上高	68,755	100%	69,397	100%	641
建設事業	66,516		65,016		▲1,500
不動産事業等	2,238		4,380		2,141
売上総利益	4,639	6.7%	4,696	6.8%	57
建設事業	3,356	5.0%	3,180	4.9%	▲175
不動産事業等	1,283	57.3%	1,516	34.6%	232
一般管理費	7,004	10.1%	7,216	10.4%	211
営業利益	▲2,365	▲3.4%	▲2,519	▲3.6%	▲154
営業外収益	1,299	1.9%	1,349	2.0%	49
営業外費用	107	0.2%	105	0.2%	▲2
経常利益	▲1,173	▲1.7%	▲1,275	▲1.8%	▲101
特別利益	2,405	3.5%	939	1.3%	▲1,466
特別損失	2,807	4.1%	1,158	1.7%	▲1,649
税金等調整前四半期純利益	▲1,574	▲2.3%	▲1,493	▲2.2%	81
法人税等	75	0.1%	76	0.1%	1
四半期純利益	▲1,650	▲2.4%	▲1,570	▲2.3%	79

《主な増減理由》

『売上高・売上総利益』

- ・建設事業は、連結修正によるもので、連結子会社から発注された完成工事分を消去
- ・不動産事業等は、連結子会社の売上高及び売上総利益による増加

『営業外収益』

- ・連結決算では、営業外収益に負ののれん償却額141百万円を計上し連結子会社への貸付金の受取利息78百万円を消去

『特別利益・特別損失』

- ・特別利益は、個別決算で計上した連結子会社への貸付金等に対する貸倒引当金戻入額1,471百万円を消去
- ・特別損失は、個別決算で計上した関係会社株式評価損（連結子会社に対する株式の評価損）1,655百万円を消去

◇連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	19/9期	20/9期	21/9期	
	実績	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲4,305	12,695	▲5,932	▲18,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,832	5,391	▲1,146	▲6,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲4,078	▲1,051	1,750	2,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲8	0	▲21	▲22
増減額	2,440	17,035	▲5,349	▲22,385
現金及び現金同等物の期首残高	39,637	21,445	30,811	9,365
現金及び現金同等物の 四半期末残高	42,077	38,481	25,461	▲13,019

《主なポイント》

- ・当四半期は支払条件変更による支出増が約100億円あり、従来の支払条件を継続した場合、営業活動によるキャッシュ・フローは黒字

連結業績予想の詳細

◇22/3期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	21/3期		22/3期		
	実績		予想		増減
売上高	226,973	100%	198,000	100%	▲28,973
土 木	82,138		85,000		2,861
建 築	132,696		103,000		▲29,696
建設事業計	214,835		188,000		▲26,835
不動産事業等	12,137		10,000		▲2,137
売上総利益	21,819	9.6%	15,300	7.7%	▲6,519
土 木	9,727	11.8%	4,100	4.8%	▲5,627
建 築	8,429	6.4%	7,900	7.7%	▲529
建設事業計	18,156	8.5%	12,000	6.4%	▲6,156
不動産事業等	3,662	30.2%	3,300	33.0%	▲362
一般管理費	17,420	7.7%	15,100	7.6%	▲2,320
営業利益	4,399	1.9%	200	0.1%	▲4,199

《建設事業》
工事進行基準全面適用による影響
売上高
土木+50億円、建築+100億円
合計+150億円
売上総利益
土木+3億円(6%)、建築+6億円
(6%)、合計+9億円(6%)

《不動産事業等》
(単位：百万円)
売上高 売上総利益
販売 1,298 506(39.0%)
賃貸他 2,886 2,165(75.0%)
計 4,184 2,671(63.8%)
その他 5,815 628(10.8%)
計 10,000 3,300(33.0%)

《一般管理費》
(単位：百万円)
21/3 22/3 増減
人件費 11,089 9,900 ▲1,189
貸倒引当金繰入額
990 - ▲990

《22/3期 連結損益計算書続き》

(単位：百万円)

	21/3期		22/3期		
	実績		予想		増減
営業外収益	1,961	0.9%	1,500	0.8%	▲461
営業外費用	454	0.2%	200	0.1%	▲254
経常利益	5,906	2.6%	1,500	0.8%	▲4,406
特別利益	1,927	0.8%	250	0.1%	▲1,677
特別損失	11,023	4.8%	850	0.4%	▲10,173
税金等調整前当期純利益	▲3,190	▲1.4%	900	0.5%	4,090
法人税等	215	0.1%	100	0.1%	▲115
当期純利益	▲3,405	▲1.5%	800	0.4%	4,205

《営業外収益》
・受取利息、受取配当金の減少、為替差益の発生なし
《営業外費用》
・為替差損、有価証券評価損の発生なし

《特別利益》
・前期損益修正益
200百万円
固定資産売却益等
50百万円
《特別損失》
・前期損益修正損
600百万円
固定資産除却損等
250百万円
・前期に多額に計上した
投資有価証券売却損、
投資有価証券評価損、
早期退職加算額等の損失なし

《個別業績予想との比較》

	22/3期				増減
	個別		連結		
売上高	200,000	100%	198,000	100%	▲2,000
建設事業	195,000		188,000		▲7,000
不動産事業等	5,000		10,000		5,000
売上総利益	15,100	7.6%	15,300	7.7%	200
建設事業	12,600	6.5%	12,000	6.4%	▲600
不動産事業等	2,500	50.0%	3,300	33.0%	800
一般管理費	14,700	7.4%	15,100	7.6%	400
営業利益	400	0.2%	200	0.1%	▲200
営業外収益	1,400	0.7%	1,500	0.8%	100
営業外費用	200	0.1%	200	0.1%	—
経常利益	1,600	0.8%	1,500	0.8%	▲100
特別利益	1,600	0.8%	250	0.1%	▲1,350
特別損失	2,500	1.2%	850	0.4%	▲1,650
税金等調整前当期純利益	700	0.4%	900	0.5%	200
法人税等	100	0.1%	100	0.1%	—
当期純利益	600	0.3%	800	0.4%	200

《主な増減理由》

『売上高・売上総利益』

- ・建設事業は、連結修正によるもので、連結子会社から発注された完成工事分を消去
- ・不動産事業等は、連結子会社の売上高及び売上総利益による増加

『営業外収益』

- ・連結決算では、営業外収益に負ののれん償却額3億円を計上し連結子会社への貸付金の受取利息2億円を消去

『特別利益・特別損失』

- ・特別利益は、個別決算で計上した連結子会社への貸付金に対する貸倒引当金戻入額13億円を消去
- ・特別損失は、個別決算で計上した関係会社株式評価損（連結子会社に対する株式の評価損）16億円を消去

平成21年9月期 決算説明会

～ END ～



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

